

令和5年度 自己評価

インクルーシブ教室 白ゆり

・児童の安全確保と事故防止

職員研修において、たびたび議題にし、職員全員で意識して療育を行った。安全に留意した環境整備に努めた。

・虐待防止と身体拘束の適正化

研修と委員会を開催し、倫理綱領・障害者虐待防止法・身体拘束の3要件他を再確認して療育に活かした。

・不適切な療育の防止

不適切な療育にならないよう振り返りや話し合いの機会を確保した。

・感染症対策

さまざまな感染症に対して対策を強化し、集団感染を防いだ。

・体験的活動

日々の療育で、さまざまな体験ができるようプログラムを作成し、全員が参加できるように工夫した。法人の園や事業所とも有意義な交流を行う事ができた。児童にとって、とても良い刺激となり、表情が輝いていた。

・保護者支援

保護者に対し、その日の様子を伝える事に加えて、家庭での様子や保護者の困り事に耳を傾けるよう努め、必要に応じて改めて相談日を設けた。また、相談支援事業所と連携して、ケース会議にも積極的に参加し、保護者、園や学校の先生、他事業所との情報共有を図った。

・保護者アンケート

保護者から評価が得られ、職員の励みになっている。

・研修

職員それぞれが積極的に研修に参加し、スキルアップに努めた。

・職員のチームワークを発揮

日々のミーティングで、細かい部分まで情報共有し、個々のケースについて検討を行い、療育に活かした。職員同士が、考えを述べたり、療育のアイデアを出したりしやすい風土作りに努めた。